

# 週間市場レポート (2020年2月3日~2月7日)

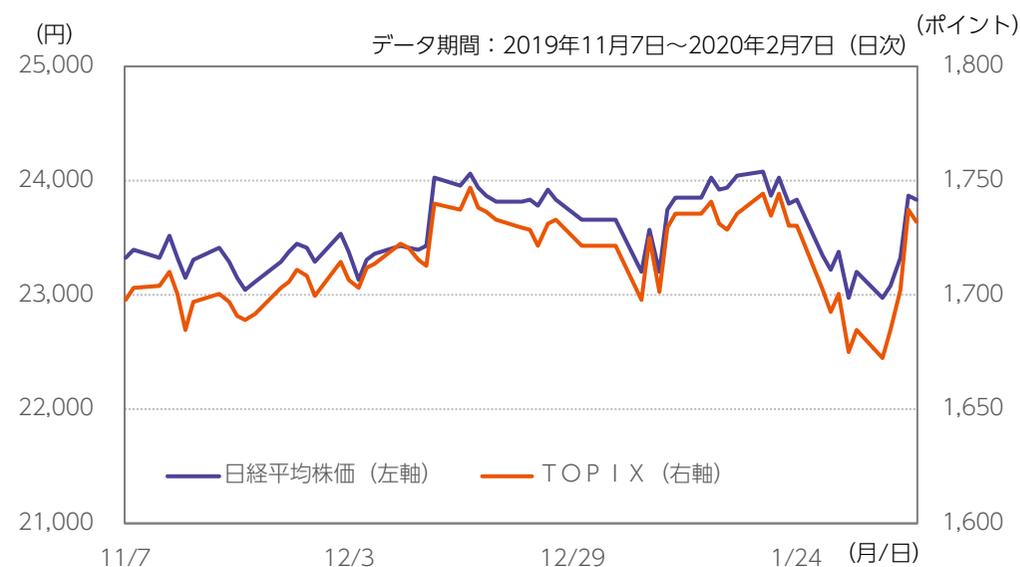
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/1/31	先週末 2020/2/7	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		23,205.18	23,827.98	2.68 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,684.44	1,732.14	2.83 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		28,256.03	29,102.51	3.00 ↗
S&P500種指数		3,225.52	3,327.71	3.17 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,640.91	3,798.49	4.33 ↗
S&P/ASX300指数		6,972.70	6,976.36	0.05 ↗
上海総合指数		2,976.53	2,875.96	▲ 3.38 ↘
MSCI AC アジア (除く日本)※		811.42	839.21	3.42 ↗
東証REIT指数		2,215.67	2,214.43	▲ 0.06 ↘
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		788.26	800.99	1.61 ↗
ASX300 REIT 指数		1,655.50	1,665.40	0.60 ↗
グローバルREIT (除く日本)※		200.28	202.86	1.29 ↗
日本10年国債 (%)		▲ 0.07	▲ 0.04	0.03 ↗
米国10年国債 (%)		1.51	1.58	0.08 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.43	▲ 0.39	0.05 ↗
英国10年国債 (%)		0.52	0.57	0.05 ↗
ドル/円		108.35	109.75	1.29 ↗
ユーロ/円		120.17	120.14	▲ 0.02 ↘
英ポンド/円		143.11	141.48	▲ 1.14 ↘
豪ドル/円		72.51	73.23	0.99 ↗
フィラデルフィア半導体指数		1,789.93	1,864.36	4.16 ↗
WTI原油先物 (ドル)		51.56	50.32	▲ 2.40 ↘
CRB指数		170.31	170.12	▲ 0.11 ↘
アレリアンMLP指数		1,075.20	1,072.71	▲ 0.23 ↘

## 2) 日本の株式・債券市場

### ◀ 株式 ▶

日本株式市場 (日経平均株価) は、前週末比で上昇となりました。週初は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大により世界景気が減速するとの懸念から、前週末の米国株式市場が大幅に下落した流れを受け大きく下落しました。その後は、中国政府による経済対策への期待や、米国輸入品に対する一部関税率引き下げの公表を受け3日続伸しました。週末は、短期的な過熱感が意識され利益確定目的の売りが優勢となり前日比で小幅に下落したものの、週間では上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 ※現地通貨ベース

\*1 ▲はマイナスを表します。 \*2 上海総合指数は春節 (旧正月) 連休中であったため、2020年1月23日と2月7日の価格を掲載。

≪ 債券 ≫

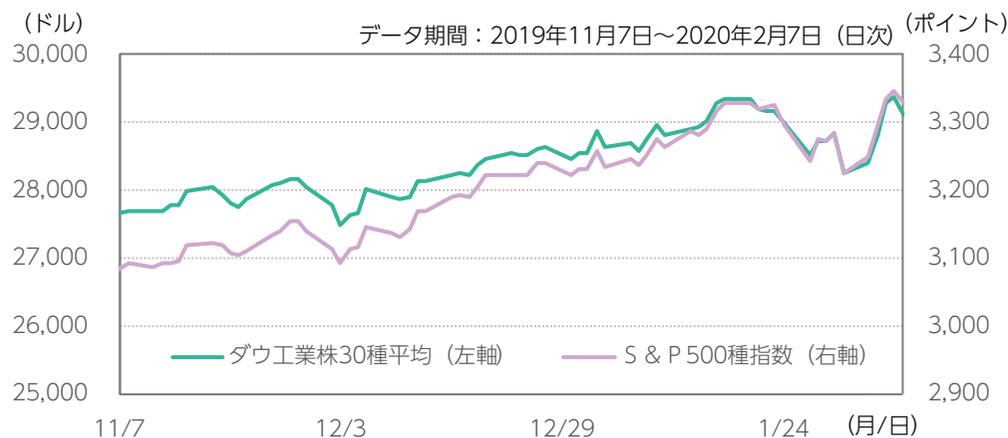
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。新型コロナウイルスの感染拡大に対する過度な警戒感が和らぎ、日経平均株価が上昇したことを受け、相対的に安全資産とされる債券は売りが優勢となりました（利回りは上昇）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇となりました。新型コロナウイルスの感染拡大に対する過度な警戒感が和らいだことや、中国政府による経済対策への期待、堅調な米経済指標などを受け週初から上昇基調で推移しました。週末に新型コロナウイルスの感染拡大懸念が改めて意識されると、前日比で下落となったものの、週間では上昇となりました。



4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。新型コロナウイルスの感染拡大を警戒した投資家のリスク回避の動きが一服したことや、中国政府による経済対策への期待などを背景に、相対的に低リスク通貨とされる円は売りが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

中国で発生した新型コロナウイルスの世界的な感染拡大懸念はくすぶるものの、新型コロナウイルスの感染拡大に対する過度な警戒感が和らいだことや、中国政府による経済対策への期待などから、先週の株式市場はやや落ち着きを取り戻し、日米両市場ともに前週末比で上昇となりました。

引き続き新型コロナウイルスの感染状況には注意が必要であるものの、先週に公表された堅調な米経済指標で米国経済の底堅さが改めて認識されたことなどから、今週の株式市場は緩やかな上昇基調で推移するものと予想します。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>